

「暮らし」と「食」を
データで振り返る

1989-2019



平成の家族。

そして、どんな未来が待っているのか――。

2018 平成30年 を振り返る

メインテーマ

[価値観の変化]

東京ガスの食のキーワード

「男だけの厨房&段取り時短調理」

時代の背景

アベノミクスが奏功し、企業業績は好調。「人手不足」が浮き彫りとなりました。

労働力確保が待ったなしの課題となり、「一億総活躍社会」実現に向け、官民で「働き方改革」が進められました。企業も大きな変化を迫られます。その1つが、多様な人材を積極的に活用する「ダイバーシティ」の推進でした。

家族の物語

愛は32歳になり、夫との間に2歳の娘が誕生していました。

翔太は外資系企業に勤め、ワーク・ライフ・バランスをうまくとった人生を楽しんでいます。

62歳になった隆は再雇用で、今も保険会社に勤め、

恵子は仕事と孫の世話で、忙しくも、充実した生活を送っていました。



夫 隆 (62歳)



妻 恵子 (58歳)



長女 愛 (32歳)



愛の夫 大輔 (32歳)



愛の娘 葵 (2歳)



長男 翔太 (30歳)

いろいろな人が働きやすい制度が
整った企業で働いている愛。
それでも、家族の協力は不可欠でした。